



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月6日

上場会社名 LINEヤフー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4689

URL <https://www.lycorp.co.jp/ja/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO

(氏名) 出澤 剛

問合せ先責任者(役職名) 上級執行役員 CFO(最高財務責任者)

(氏名) 坂上 亮介 (TEL) 03-6779-4900

四半期報告書提出予定日 2024年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する四半 期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第3四半期	1,346,840	8.7	174,280	△40.0	170,179	△25.8	136,521	△29.0	122,448	△32.0	154,883	△46.3
2023年3月期 第3四半期	1,238,596	6.8	290,260	64.4	229,289	68.3	192,228	139.5	180,151	169.6	288,327	183.9
	調整後EBITDA		調整後1株当たり 四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益					
	百万円	%	円 銭	%	円 銭	%	円 銭	円 銭				
2024年3月期第3四半期	313,155	20.1	17.35	253.5	16.33	16.33	16.27					
2023年3月期第3四半期	260,762	△8.5	4.91	△48.5	24.04	23.97	23.97					

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,983,716	3,428,124	3,031,828	33.7
2023年3月期	8,588,722	3,317,900	2,919,399	34.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.56	5.56
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.56	5.56

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	1,820,000	8.8	390,000	17.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は四半期決算短信(添付資料)5ページ「(1)連結経営成績に関する定性的情報 3. 当期の見通し(2023年4月1日~2024年3月31日)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,636,212,411株	2023年3月期	7,633,501,686株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	136,075,894株	2023年3月期	136,820,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,498,201,245株	2023年3月期3Q	7,494,460,863株

(注) 自己株式数については、株式給付信託(J-ESOP)、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2023年3月期: 33,773,403株、2024年3月期3Q: 32,955,893株)を含めて記載しています。

(4) 各種経営指標の算式

- ・調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費(※1)±EBITDA調整項目(※2)
- ・調整後1株当たり四半期利益: 調整後四半期利益(※3)÷普通株式の期中平均株式数(四半期累計)

(※1) 減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費、一部の賃借料

(※2) EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益(固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、段階取得差損益、その他現金の流出が未確定な取引(一時的な引当金等)等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益

(注) 2023年3月期第3四半期より調整後EBITDAの定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加。2023年3月期第1四半期および第2四半期の当該収益・費用を、2023年3月期第3四半期に一括で調整

(※3) 調整後四半期利益: 親会社の所有者に帰属する四半期利益±EBITDA調整項目±調整項目の一部に係る税金相当額

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、2024年2月6日(火)に当社ホームページ(<https://www.lycorp.co.jp/ja/ir.html>)に掲載しています。

・当社は、2023年10月1日を効力発生日として、当社ならびに中核完全子会社であるLINE(株)およびヤフー(株)を中心としたグループ内再編を実施し、商号をZホールディングス(株)からLINEヤフー(株)に変更しました。

○添付資料の目次

1 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 経営上の重要な契約等	7
2 【要約四半期連結財務諸表及び主な注記】	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15

1 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1. 連結経営成績の概況(2023年4月～12月)

■トピックス

売上収益は1兆3,468億円(前年同期比8.7%増)、調整後EBITDAは3,131億円(前年同期比20.1%増)となり、ともに第3四半期連結累計期間として過去最高を更新。

	前年同期	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
売上収益	1兆2,385億円	1兆3,468億円	1,082億円増	8.7%増
調整後EBITDA	2,607億円	3,131億円	523億円増	20.1%増

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、2022年10月のPayPay(株)連結子会社化に加えて、PayPay(株)とPayPayカード(株)を含むPayPay連結の成長に伴う戦略事業の増収等により、過去最高となる1兆3,468億円(前年同期比8.7%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の調整後EBITDAは、事業の選択と集中の推進およびPayPay連結の成長により戦略事業の収益性が改善したことや、コスト最適化等が奏功し、過去最高となる3,131億円(前年同期比20.1%増)となりました。なお、前年度第3四半期に計上した、PayPay(株)連結子会社化による企業結合に伴う再測定益の影響により、営業利益等については前年同期比で減益となったものの、企業結合に伴う再測定益は調整後EBITDAの算出における調整項目(サマリー『※注記事項(4)各種経営指標の算式』参照)であり、調整後EBITDAへの影響はありません。

2. セグメントの業績概況(2023年4月～12月)

セグメント別の売上収益・調整後EBITDA

	前年同期	当四半期累計	増減(額)	増減(率)
メディア事業				
売上収益	5,137億円	5,268億円	131億円増	2.6%増
調整後EBITDA	1,786億円	1,973億円	186億円増	10.4%増
コマース事業				
売上収益	6,014億円	6,115億円	101億円増	1.7%増
調整後EBITDA	870億円	1,022億円	151億円増	17.5%増
戦略事業				
売上収益	1,285億円	2,116億円	831億円増	64.7%増
調整後EBITDA(△は損失)	△127億円	78億円	205億円増	—
その他				
売上収益	44億円	56億円	11億円増	26.2%増
調整後EBITDA	9億円	13億円	4億円増	49.0%増
調整額				
売上収益	△96億円	△89億円	—	—
調整後EBITDA	68億円	43億円	—	—
合計				
売上収益	1兆2,385億円	1兆3,468億円	1,082億円増	8.7%増
調整後EBITDA	2,607億円	3,131億円	523億円増	20.1%増

- (注) 1 2024年3月期第1四半期より、サービスの効率的な提供に重点を置き、迅速に市場の変化に対応するため、一部のサービスおよび子会社をセグメント間で移管しています。主な変更内容は、その他に区分されていたヤフー(株)のデータソリューションサービスおよび子会社であるdely(株)のサービスをメディア事業に移管し、また、その他および調整額に配賦していたLINE(株)およびその子会社に関する費用の一部をメディア事業、コマース事業および戦略事業に配賦しています。これに伴い、前年同期のセグメント情報を遡及修正して表示しています。
- 2 2023年10月1日付のグループ内再編に伴い、2024年3月期第3四半期より一部のサービスおよび費用をセグメント間で移管しています。主な変更内容は、コマース事業に区分されていたプレミアム会員、戦略事業に区分されていた「LINE Search」およびその他に区分されていたメールサービスをメディア事業に移管し、調整額に計上されていたスタッフ部門およびテクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用をメディア事業、コマース事業、戦略事業およびその他に配賦しています。これに伴い、前年同期のセグメント情報を遡及修正して表示しています。
- 3 調整額は、セグメント間取引および報告セグメントに帰属しない全社費用です。

① 当第3四半期連結累計期間のメディア事業

当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業は、アカウント広告および検索広告の増収ならびに2022年9月のLINE MUSIC(株)連結子会社化の影響により、売上収益は5,268億円(前年同期比2.6%増)となりました。また、調整後EBITDAは1,973億円(前年同期比10.4%増)となりました。なお、メディア事業の売上収益が全売上収益に占める割合は39.1%となりました。

- ・アカウント広告：「LINE公式アカウント」において2023年6月に料金プランを改定したことも奏功し、有償アカウント数が増加しており、売上収益は前年同期比で21.2%増加しました。
- ・検索広告：パートナーサイト面では減収となったものの、LINEヤフー面の増収により、売上収益は前年同期比1.9%増となりました。
- ・ディスプレイ広告：改善傾向にあるものの、前年同期比で減収となりました。

② 当第3四半期連結累計期間のコマース事業

コマース事業の売上収益は、アスクルグループおよびZOZOグループにおける増収により、前年同期比で増加しました。

eコマース取扱高(※1)は、コスト最適化等の影響により、3兆1,319億円(前年同期比0.1%減)となり、うち国内物販系取扱高は、2兆2,703億円(前年同期比0.2%減)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるコマース事業の売上収益は、6,115億円(前年同期比1.7%増)となりました。また、調整後EBITDAは1,022億円(前年同期比17.5%増)となりました。なお、コマース事業の売上収益が全売上収益に占める割合は45.4%となりました。

(※1) eコマース取扱高は、4ページ「各セグメントの主なサービス・商品」に掲載しているコマース事業の「LINEヤフー」内の「ショッピング事業」、「リユース事業」、「サービスEC事業」および「ZOZO、アスクル」内の「ZOZO」、「アスクル」ならびにメディア事業の「その他」の有料デジタルコンテンツ等における取扱高の合算値です。

③ 当第3四半期連結累計期間の戦略事業

戦略事業の売上収益は、2022年10月のPayPay(株)連結子会社化の影響やPayPay連結の成長により、前年同期比で増加しました。

PayPay連結取扱高は、9.2兆円(※2、3)(前年同期比23.3%増(※4))となり、順調に拡大しています。また、PayPay銀行(株)の貸出金残高は6,761億円(前年同期比32.1%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における戦略事業の売上収益は、2,116億円(前年同期比64.7%増)となりました。また、事業の選択と集中を推進したことやPayPay連結の成長により、戦略事業の調整後EBITDAは78億円となり黒字化しました。なお、戦略事業の売上収益が全売上収益に占める割合は15.7%となりました。

(※2) ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まず。2022年3月期第4四半期以降は「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。2022年2月より提供開始した「クレジット(旧あと払い)」による決済を含む。PayPayカード(株)の取扱高を2022年3月期の期初から連結して表示。PayPay(株)とPayPayカード(株)間の内部取引消去後

(※3) 値は10億円単位で端数切り捨ての上、1,000億円単位で四捨五入

(※4) PayPayカード(株)の取扱高を含む連結取扱高の増減率

各セグメントの主なサービス・商品

メディア事業	検索広告	Yahoo!広告「検索広告」		
	アカウント広告	「LINE公式アカウント」、「LINEプロモーションスタンプ」、「LINEで応募」、「LINEチラシ」、その他		
	ディスプレイ広告	運用型広告	Yahoo!広告「ディスプレイ広告」(運用型)、「LINE VOOM」、「LINE NEWS」、「トークリスト」、「Talk Head View」、「Talk Head View Custom」、その他	
		予約型広告	Yahoo!広告「ディスプレイ広告」(予約型)等	
		その他LINE広告	「LINEバイト」、その他	
その他	「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、「LINE MUSIC」、「LINEマンガ」、「LINE Search」、「LYPプレミアム会員」、「ebookjapan」、不動産関連、「Yahoo!ロコ」、「Yahoo!メール」、その他			
コマース事業	LINEヤフー	ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINE ショッピング」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「MySmartStore」、「Yahoo!マート by ASKUL」、「LIVEBUY」、海外EC(「LINE SHOPPING(台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「EZ STORE」、「QUICK EC」、「MyShop」、その他)	
		リユース事業	「Yahoo!オークション」(※5)、「Yahoo!フリマ」(※6)	
		サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休トラベル」、「LINEトラベル(台湾)」、その他	
		その他	その他	
	Zozo、アスクル	Zozo	「ZOZOTOWN」、「ZOZUSED」、その他	
		アスクル	アスクル BtoB事業(「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他)、「LOHACO」、「チャーム」、その他	
		その他	「バリューコマース アフィリエイト」、「バリューポイントクラブ」、「ストアーズ・アールエイト」、「ストアマッチ」、「ピースペース」、その他	
戦略事業	Fintech	PayPay連結	PayPay、PayPayカード	
		PayPay銀行	—	
		その他金融	PayPayアセットマネジメント、「PayPayほけん」、「LINE Pay」、「LINEスコア」、「LINEポケットマネー」、「LINE BITMAX」、「LINE FX」、「DOSI」、その他	
	その他	その他		

(※5) 「ヤフオク!」は、2023年11月1日に「Yahoo!オークション」にサービス名称を変更しました。

(※6) 「PayPayフリマ」は、2023年11月1日に「Yahoo!フリマ」にサービス名称を変更しました。

3. 当期の見通し(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想について、当第3四半期連結累計期間までの実績等を踏まえ、以下のとおり修正します。売上収益については、前回(2023年4月28日)発表の1兆9,000億円を1兆8,200億円(前年度比8.8%増)に修正します。また、調整後EBITDAについては、事業の選択と集中が順調に進捗していることから、前回発表の3,560億円～3,660億円を上方修正し、3,900億円(前年度比17.3%増)を見込んでいます。

	売上収益	調整後EBITDA
	百万円	百万円
前回発表予想(A)	1,900,000	356,000 ～366,000
今回修正予想(B)	1,820,000	390,000
増減額(B-A)	△80,000	24,000 ～34,000
増減率(%)	△4.2	6.6 ～9.6
(参考)前期連結実績 (2023年3月期)	1,672,377	332,610

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および資本の状況

1. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて394,993百万円(4.6%増)増加し、8,983,716百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・現金及び現金同等物の主な増減理由は、「キャッシュ・フローの状況」に記載しています。
- ・カード事業の貸付金は、主にクレジットカード事業の取扱高増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・銀行事業の有価証券は、PayPay銀行(株)の資金運用による有価証券の取得・売却等により前連結会計年度末と比べて増加しました。

2. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べて284,769百万円(5.4%増)増加し、5,555,591百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・営業債務及びその他の債務は、主にPayPay(株)の加盟店に対する未払金の増加およびユーザーからの預り金の増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・銀行事業の預金は、顧客からの預金の増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。

3. 資本

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末と比べて110,223百万円(3.3%増)増加し、3,428,124百万円となりました。

主な増減理由は以下のとおりです。

- ・利益剰余金は、配当の支払いによる減少があったものの、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。
- ・その他の包括利益累計額は、主に円安の影響に伴う在外営業活動体の換算差額の増加により前連結会計年度末と比べて増加しました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ126,122百万円減少し、1,525,728百万円となりました。このうち銀行事業に関する日銀預け金は343,241百万円です。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、カード事業の貸付金の増加、法人所得税の支払、営業債権及びその他の債権の増加があったものの、主に営業債務及びその他の債務の増加、税引前四半期利益の計上、銀行事業の預金の増加により293,405百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、銀行事業の有価証券の売却または償還による収入、貸付金の回収による収入があったものの、主に銀行事業の有価証券の取得による支出、有形固定資産の取得による支出により358,132百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入があったものの、主に社債の償還による支出、長期借入金の返済による支出、配当金の支払、コマーシャル・ペーパーの発行・償還、リース負債の返済による支出により67,500百万円の支出となりました。

(3) 経営上の重要な契約等

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の締結および変更はありません。

2 【要約四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
資産				
現金及び現金同等物	1,651,851	1,525,728	△126,122	△7.6
銀行事業のコールローン	98,000	98,106	106	0.1
営業債権及びその他の債権	623,300	689,294	65,993	10.6
棚卸資産	31,690	33,393	1,703	5.4
カード事業の貸付金	593,058	760,617	167,558	28.3
銀行事業の有価証券	414,719	617,617	202,897	48.9
銀行事業の貸付金	620,383	670,930	50,546	8.1
その他の金融資産	447,841	402,319	△45,522	△10.2
有形固定資産	213,839	231,466	17,627	8.2
使用権資産	221,221	231,206	9,985	4.5
のれん	2,074,779	2,069,328	△5,450	△0.3
無形資産	1,267,738	1,257,521	△10,217	△0.8
持分法で会計処理されている投資	191,048	250,946	59,898	31.4
繰延税金資産	44,477	26,477	△18,000	△40.5
その他の資産	94,772	118,760	23,987	25.3
資産合計	8,588,722	8,983,716	394,993	4.6

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
負債及び資本				
負債				
営業債務及びその他の債務	1,351,794	1,535,731	183,936	13.6
銀行事業の預金	1,495,629	1,652,035	156,405	10.5
有利子負債	1,913,799	1,928,637	14,838	0.8
その他の金融負債	14,729	11,394	△3,334	△22.6
未払法人所得税	31,616	26,394	△5,221	△16.5
引当金	23,136	23,955	819	3.5
繰延税金負債	240,772	194,266	△46,505	△19.3
その他の負債	199,345	183,175	△16,169	△8.1
負債合計	5,270,822	5,555,591	284,769	5.4
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	247,094	247,892	797	0.3
資本剰余金	2,046,696	2,059,624	12,928	0.6
利益剰余金	647,347	733,604	86,257	13.3
自己株式	△70,436	△70,040	395	—
その他の包括利益累計額	48,697	60,748	12,050	24.7
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,919,399	3,031,828	112,429	3.9
非支配持分	398,501	396,295	△2,205	△0.6
資本合計	3,317,900	3,428,124	110,223	3.3
負債及び資本合計	8,588,722	8,983,716	394,993	4.6

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上収益	1,238,596	1,346,840	108,243	8.7
売上原価	378,077	384,237	6,160	1.6
販売費及び一般管理費	728,475	803,852	75,377	10.3
企業結合に伴う再測定益	156,501	—	△156,501	—
事業分離における移転利益	—	10,458	10,458	—
子会社の支配喪失に伴う利益	1,714	5,071	3,357	195.8
営業利益	290,260	174,280	△115,979	△40.0
その他の営業外収益	5,198	5,703	504	9.7
その他の営業外費用	44,998	16,857	△28,140	△62.5
持分変動利益	5,343	19,262	13,919	260.5
持分法による投資損益(△は損失)	△26,513	△12,209	14,303	—
税引前四半期利益	229,289	170,179	△59,110	△25.8
法人所得税	37,061	33,658	△3,403	△9.2
四半期利益	192,228	136,521	△55,706	△29.0
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	180,151	122,448	△57,702	△32.0
非支配持分	12,076	14,072	1,996	16.5
四半期利益	192,228	136,521	△55,706	△29.0
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益(円)	24.04	16.33	△7.71	△32.1
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	23.97	16.27	△7.70	△32.1

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	192,228	136,521
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない 項目		
確定給付制度の再測定	835	△114
FVTOCIの資本性金融資産	82,610	1,473
持分法適用会社に対する持分相当額	181	359
項目合計	83,627	1,719
純損益にその後振り替えられる 可能性のある項目		
FVTOCIの負債性金融資産	△2,012	△633
在外営業活動体の換算差額	14,484	17,276
項目合計	12,471	16,643
税引後その他の包括利益	96,098	18,362
四半期包括利益	288,327	154,883
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	277,163	140,489
非支配持分	11,163	14,394
四半期包括利益	288,327	154,883

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2022年4月1日	237,980	2,037,384	401,322	△54,086	61,776	2,684,377	297,819	2,982,197
四半期利益			180,151			180,151	12,076	192,228
その他の包括利益					97,011	97,011	△912	96,098
四半期包括利益	—	—	180,151	—	97,011	277,163	11,163	288,327
所有者との取引額等								
新株の発行	9,084	9,206				18,290		18,290
剰余金の配当			△43,535			△43,535	△11,813	△55,348
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			108,120		△108,120	—		—
自己株式の取得				△16,381		△16,381		△16,381
子会社の支配獲得及び 喪失に伴う変動		△11,519				△11,519	94,579	83,059
支配継続子会社に対する 持分変動		74				74	7,844	7,919
株式に基づく報酬取引		9,639				9,639		9,639
その他		△848	△29			△878	83	△794
所有者との取引額等合計	9,084	6,552	64,555	△16,381	△108,120	△44,309	90,694	46,384
2022年12月31日	247,064	2,043,937	646,029	△70,468	50,667	2,917,230	399,678	3,316,909

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額	合計		
2023年4月1日	247,094	2,046,696	647,347	△70,436	48,697	2,919,399	398,501	3,317,900
四半期利益			122,448			122,448	14,072	136,521
その他の包括利益					18,040	18,040	321	18,362
四半期包括利益	—	—	122,448	—	18,040	140,489	14,394	154,883
所有者との取引額等								
新株の発行	797	1,034				1,832		1,832
剰余金の配当			△41,855			△41,855	△16,030	△57,886
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			5,989		△5,989	—		—
自己株式の取得				△0		△0		△0
子会社の支配獲得及び 喪失に伴う変動						—	△6,110	△6,110
支配継続子会社に対する 持分変動		2,321				2,321	4,525	6,847
株式に基づく報酬取引		10,964				10,964		10,964
その他		△1,392	△326	395		△1,322	1,015	△307
所有者との取引額等合計	797	12,928	△36,191	395	△5,989	△28,059	△16,600	△44,659
2023年12月31日	247,892	2,059,624	733,604	△70,040	60,748	3,031,828	396,295	3,428,124

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	229,289	170,179
減価償却費及び償却費	108,068	125,845
企業結合に伴う再測定益	△156,501	—
事業分離における移転利益	—	△10,458
子会社の支配喪失に伴う利益	△1,714	△5,071
持分変動利益	△5,343	△19,262
持分法による投資損益(△は益)	26,513	12,209
銀行事業のコールローンの増減額(△は増加)	—	△106
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△24,310	△59,105
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	270,243	219,929
カード事業の貸付金の増減額(△は増加)	△94,042	△167,558
銀行事業の貸付金の増減額(△は増加)	△93,981	△50,546
銀行事業の預金の増減額(△は減少)	42,411	156,405
その他	41,376	27,512
小計	342,009	399,972
利息及び配当金の受取額	2,353	3,623
利息の支払額	△7,641	△8,816
法人所得税の支払額	△92,067	△127,074
法人所得税の還付額	1,636	25,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	246,290	293,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
銀行事業の有価証券の取得による支出	△93,474	△326,655
銀行事業の有価証券の売却または償還による収入	192,454	127,301
貸付金の回収による収入	6,329	53,264
有形固定資産の取得による支出	△71,619	△63,598
その他	386,419	△148,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	420,109	△358,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	76,734	△20,127
長期借入による収入	108,199	217,508
長期借入金の返済による支出	△38,795	△57,663
非支配持分からの払込による収入	9,713	14,960
社債の償還による支出	△85,000	△95,000
コマーシャル・ペーパー発行による収入	479,000	319,000
コマーシャル・ペーパー償還による支出	△466,000	△352,000
配当金の支払額	△43,552	△41,856
非支配持分への配当金の支払額	△10,950	△15,055
リース負債の返済による支出	△25,534	△30,126
その他	57,553	△7,139
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,369	△67,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,993	6,104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	732,763	△126,122
現金及び現金同等物の期首残高	1,127,523	1,651,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,860,286	1,525,728

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 見積り及び判断の利用

IFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は会計方針の適用および資産、負債、収益、費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り、仮定を設定することが義務付けられています。実際の業績はこれらの見積りと異なる場合があります。

見積りおよびその基礎となる仮定は継続して見直しています。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間および将来の会計期間において認識しています。

当社グループの要約四半期連結財務諸表で認識する金額に重要な影響を与える判断、見積り、仮定は、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同一です。

3. 企業結合に伴う再測定益

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

2022年10月1日に行われたPayPay(株)の連結子会社化に伴い、同社に対する資本持分を支配獲得日の公正価値で再測定した結果147,321百万円の企業結合に伴う再測定益を認識しています。また、第2四半期連結会計期間に実施されたLINE MUSIC(株)の連結子会社化に伴い、同様に9,180百万円の企業結合に伴う再測定益を認識しています。

4. 事業分離における移転利益

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

LINE(株)が営むAIカンパニー事業を、ワークスモバイルジャパン(株)に会社分割により承継し、その対価として同社の株式を取得しました。会社分割の対価と、承継した事業に係る純資産との差額を事業分離における移転利益として認識しています。

5. 子会社の支配喪失に伴う利益

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

2023年8月31日にJDW Co., Ltd. に対して第三者からの出資が実施されたことおよび、2023年12月27日に(株)yutoriの新規上場による公募増資に加え(株)ZOZOが所有する持分の一部を売却した結果、当社の子会社に該当しないこととなり、子会社の支配喪失に伴う利益を認識しています。

6. 持分変動利益

前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

主に、当社グループの保有するWebtoon Entertainment Inc. に対する持分比率が変動したことに伴い発生した利益です。

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

主に、当社グループの保有するWebtoon Entertainment Inc. に対する持分比率が変動したことに伴い発生した利益です。